



壁に塗る、安心と快適。

ALES SHIKKUI

漆喰塗料アレスシックイ
内装用カタログ



消臭



調湿



抗菌
抗ウイルス



気持ちいい空間の新常識。

壁に塗る。ただそれだけで、
カビやニオイ、ウイルスなどの悩みを和らげてくれる空間へ。
壁に機能を持たせることで、
これまでの空間が、驚くほど快適で過ごしやすい。
小さなお子様、ご高齢の方、ペットがいるお家にも。
一步進んだ快適空間は、アレスシックイが叶えてくれる。
気持ちいい空間の常識を、アレスシックイで塗りかえよう。



アレスシックイを導入して叶える 憧れの空間



ペットのにおいが消えた家 (M邸)

築38年のマンションをスケルトンリフォーム。リビングの大きな壁面はコテ仕上げによる意匠が施されおしゃれな空間に。2匹のペットと快適と暮らせるようニオイの改善が最優先事項でした。玄関のクローゼットもアレスシックイの効果で靴のニオイが気になりません。



開放的で心地よい、愛着仕様の住まい (I邸)

こだわりのライフスタイルを叶える理想の邸宅。天井と壁すべてをアレスシックイで統一しました。どんなテイストとも相性が良いアレスシックイの壁が、モダンなインテリアを引き立てて深みのある空間でもてなし。間接照明の光が乱反射して柔らかい光を演出します。



アーチデザインの漆喰天井で、 品格のある空間を実現

サバティーニ・ディ・フィレンツェ東京 (東京都)

フィレンツェで100年以上の歴史がある正統派イタリアンレストラン。聖堂をイメージした美しいアーチ天井に漆喰と木材を組み合わせることで、格調高いイタリア伝統建築を実現しています。



140年の歴史を次世代へ。 文化財の継承と新技術の組み合わせ

富士屋ホテル (神奈川県)

箱根で名高いクラシックホテルが、2年間にわたる大改修工事で生まれ変わりました。ホテルの魅力と歴史的価値をそのまま継承するため、ヒストリックスイートをはじめ多くのお部屋でアレスシックイをご使用いただいています。

ウイルスを増やさない。 これからの壁の新常識



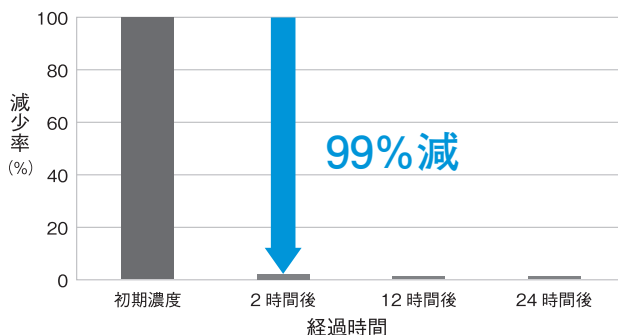
イヤなニオイを軽減、頼れる消臭機能

私たちの生活の中で、必ず発生するさまざまなニオイ。ペットやタバコ・トイレ・ごみのニオイなど、人によっては不快な印象を感じるニオイも少なくありません。アレスシックイを塗った壁は、こうしたニオイを吸着分解し、生活臭の悩みを和らげます。

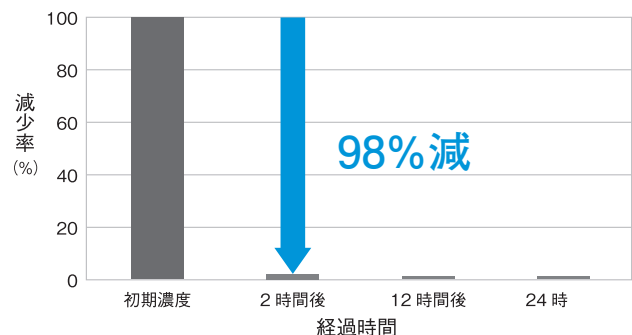
こんなにすごい。アレスシックイの消臭機能

昔から「漆喰」は、その優れた消臭機能が知られています。アレスシックイを塗った壁は、空間のニオイを吸着し分解する消臭機能を発揮します。

汗臭・加齢臭の消臭試験



足のニオイの消臭試験



壁に付着した ウイルスの増殖を抑制

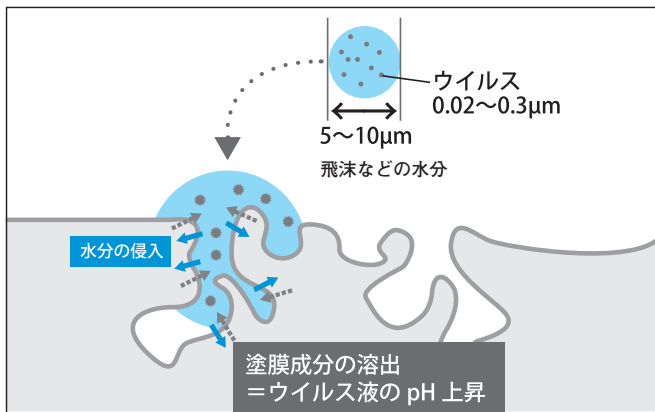
私たちは生活をする上でいろいろなところを触るので、モノから手、手から人へとさまざまな菌やウイルスを運んでしまう恐れがあります。アレスシックイを塗装した壁は、漆喰の持つ抗菌・抗ウイルス機能により壁に付着した菌やウイルスの増殖を抑制。これからの生活にうれしい機能です。



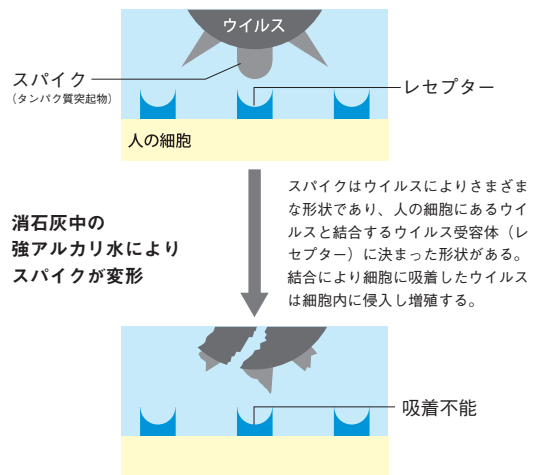
なぜ漆喰を塗った壁でウイルスの増殖が抑制されるのか。

壁に付着したウイルスは、漆喰の主原料である消石灰と水分が反応して生じる強アルカリ的环境下により、増殖作用が抑制されます。

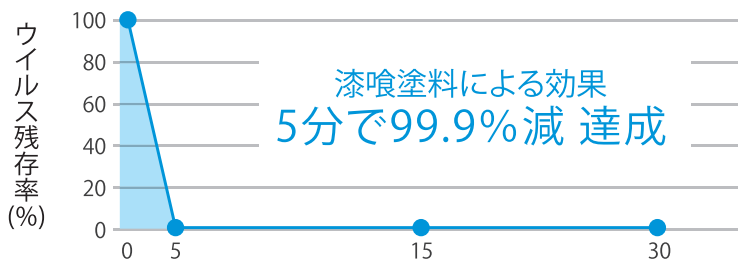
●塗膜断面拡大イメージ



●ウイルスのスパイク部拡大イメージ



ウイルス E (エンベロープあり) に対する抗ウイルス試験 長崎大学での実験結果



※本製品は人の疾病の治療又は予防に使用されることを目的とした製品ではありません。

※薬機法 (医薬品、医薬機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律) の関係上、特定のウイルス名が表記できないため「ウイルス E」と記載しています。

※すべてのウイルスや菌に対しての効果を保証するものではありません。

抗菌と調湿機能により 衛生的で快適な空間に

アレスシックイを塗った壁は、室内の湿気を吸湿・放湿する機能を有しているので、室内の湿度のバランスを保ち、快適を持続することができます。この調湿機能と漆喰の特性である強アルカリ性により、カビの発生を抑制します。

抗菌試験



アレスシックイ

無加工

※黄色ブドウ球菌 24 時間後 (洗い出し液 1ml)

主原料は自然素材。 消石灰から生まれた漆喰を知ろう



品質へのこだわり。 地球に優しい自然素材

漆喰の主原料は消石灰です。消石灰とは、地中から採掘される石灰石を焼成・消化した白色のパウダーであり、これが漆喰の環境に貢献する特性をもたらしてくれます。アレスシックイの主原料である消石灰はすべて国産です。

塗るときにニオイが 気にならない。

塗料を塗るときに、塗料自体のニオイが気になる方にも。アレスシックイは塗料特有のニオイの原因である VOC（揮発性有機化合物）を一切含んでいないため、ニオイが少なく快適にお使いいただけます。シックハウスの原因であるホルムアルデヒドなども吸着・分解して、人に優しい生活空間をつくれます。

防火認定材料

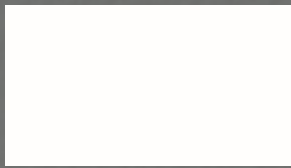
漆喰の主原料である消石灰は無機物であり不燃性の物質です。アレスシックイの主原料も消石灰であることから、防火性が認められています。

国土交通省防火認定材料 NM-8572、QM-9812、RM-9361（有機質砂壁状塗料塗り）適合品

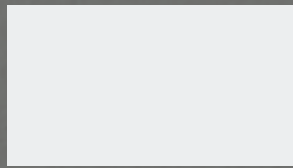


アレスシックイ 色見本

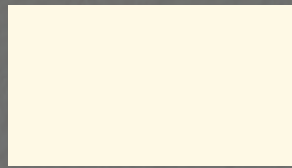
カラーバリエーションは全部で18色



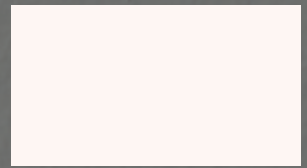
ホワイト



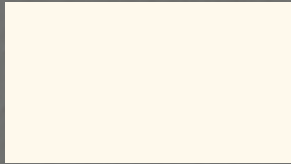
グレー



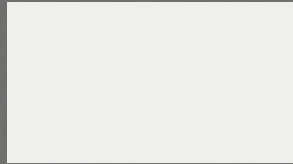
アイボリー



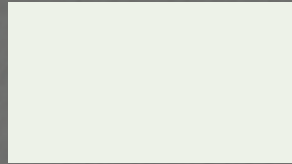
ピンク



白雲



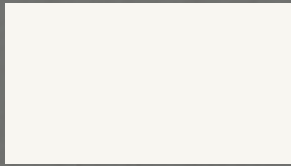
淡雪



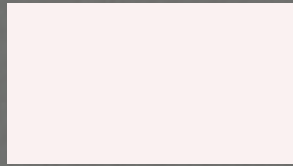
利休ねず



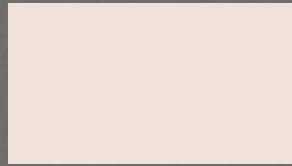
若竹



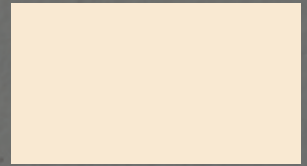
灰白 (19-90A)



さくら (05-90B)



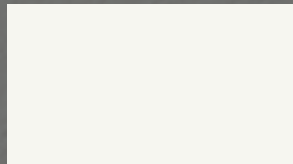
なでしこ (15-90B)



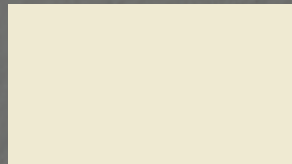
あんず (19-90D)



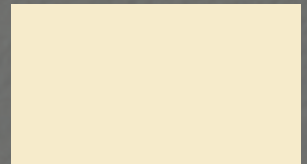
白すみれ (75-90A)



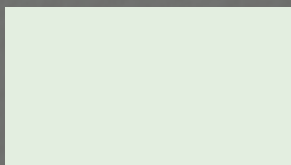
乳白 (25-90A)



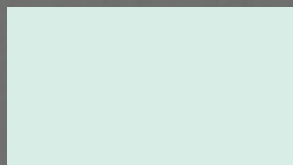
月光 (29-90B)



鳥の子 (25-90D)



薄緑 (35-90B)

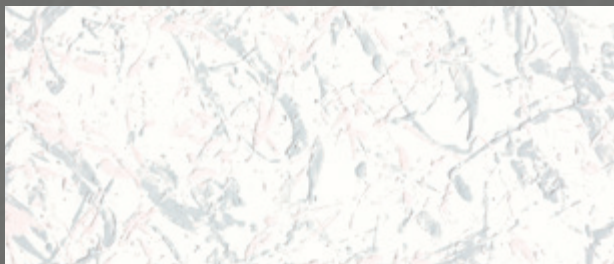


白緑 (45-90B)

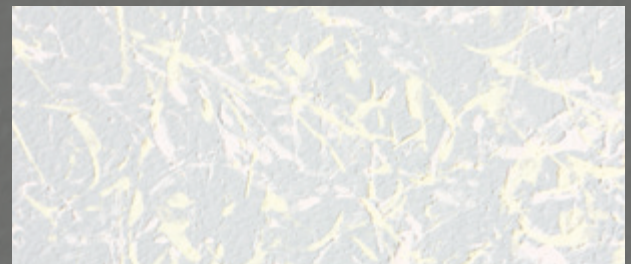
※この見本は印刷ですので、実際の仕上がりとは多少異なります。
※実際の色調は塗板を作成しご確認ください。

アレスシックイ デザイン仕上げ

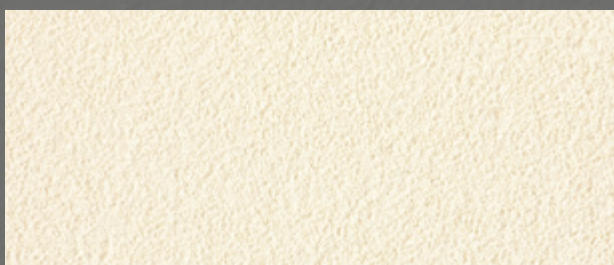
専用ローラーや骨材を使用し、仕上げます。



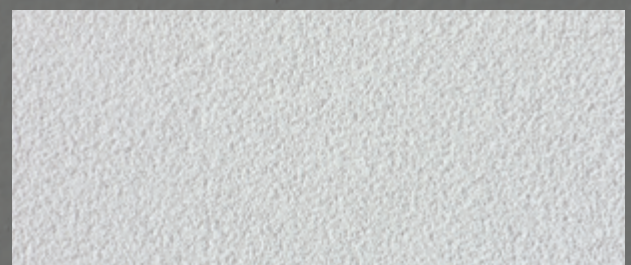
デザイン仕上げ 山桜



デザイン仕上げ 嵐



ジュラク風仕上げ アイボリー



ジュラク風仕上げ グレー

素 材 : ボード面 コンクリート・スレート・モルタル・石膏ボード・塩ビクロス・ペンキ下地クロス

部 位 : 内部 壁面

塗装仕様 : 消石灰系仕上げ塗材

容 量 : 15kg、4kg

壁に塗る、安心と快適。



施工場所	工程	塗料と処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23°C)	塗装方法	希釈率 (重量%)
現	1 素地調整	エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。				
	2 下塗り	アレスシックイシーラーネオ/上水	0.12	2時間以上7日以内	刷毛/ローラー	3~10
地	3 上塗り(1回目)	アレスシックイ/上水	0.16	4時間以上7日以内	刷毛/ローラー	5~10
	4 上塗り(2回目)	アレスシックイ/上水	0.20	—	刷毛/ローラー	5~10

- (注) (1) 標準所要量は、個々の条件により異なり増減します。
(2) 上塗りの標準塗りつけ量は、1回目0.12 (kg/m²/回) 2回目0.15 (kg/m²/回) です。
(3) 模様仕上げの場合は、別途オプションとなります。(弊社係員までお問い合わせください。)

製品取り扱い上の注意事項(安全衛生他)

施工時の注意事項

塗装時の注意事項

- シーラーレスでの施工は行わず、均一にしっかりと塗りこむようにしてください。
- 上塗りの先行刷毛塗りを行う際は、ナイロン刷毛を推奨いたします(獣毛刷毛を使用すると刷毛が直ぐに劣化します)。
- 上塗り用のローラーは、「WAKABA (大塚刷毛製造(株))」、「ハイブリッドローラー (好川産業(株))」または、「アレス漆喰ローラー (株) カンペハビオ」を推奨します。
- ローラーは使用前に十分に余り毛を除去してください。
- 上塗り (1回目) は、均一にEP塗りの感覚で塗装してください。
- 上塗り (2回目) は、ローラーに塗料をタッパー含ませ、棒塗りで仕上げるようにしてください。
- 上塗り (2回目) は、下層膜の影響を受け乾燥が早いため、手早く仕上げるようにしてください。何度モローラーで擦ると艶が変わったり、肌が荒れたり仕上げを悪くする要因となります。
- 上塗り (2回目) を塗装する際は、棒塗りで仕上げるため塗り残しが発生し易いので、塗り残しの無いよう注意して塗装してください。
- 本品は、補修性が悪いので施工の際は十分にご注意ください (EP塗りと同レベルの補修塗りはできません)。
- 万能ガンの塗料カップなど、アルミ製の塗装用具を用いる場合は、塗料が固着し落ちにくくなりますので、作業を中断する時などは、丁寧に用具の洗浄を行ってください。
- 他の塗料との混合は絶対に行わないでください。
- 塗装時及び塗装後に高湿度環境下に置かれると、本来の仕上がり、機能を損なう恐れがありますので避けてください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、剥離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので、行わないでください。

下地調整

- ボード継部等の段差は、バテ等を用いて適切な処理を行い平滑にしてください (バテは十分に乾燥させてください)。
- クロスの上に塗装する場合は、事前に浮きや剥がれ、継ぎ目のメクレなどが生じていないか確認し、不具合箇所は適切な処理を行い補正してください (処理が不十分な場合、仕上がり塗膜に影響を及ぼす事があります)。
- 被塗装物がヤニなどで汚れている場合は、中性洗剤などで十分に汚れを除去し、よく乾燥させてからシーラーを塗付してください (本品は、一般塗料に比べヤニのブリードが発生し易いのでご注意ください)。

養生等

- 施工面以外に塗料が付着しないよう養生テープ・ビニールシート等で十分に養生してください。
- 塗装後早い時期に養生を除去してください。
- アレスシックイ施工面に養生テープを貼る場合 (逆養生) は「車両用マスキングテープ No.7239 (日東電工社製)」をご使用ください。他のテープでは、粘着材が黄色などに変色し、アレスシックイ施工面に転写されるおそれがあります。

材料の保管調整

- 現場での材料保管は、室内、屋外ともシート掛けを行い、直射日光・凍結を防止し、高温 (40°C以上) 低温 (5°C以下) の保管は避けてください。
- 下塗り (シーラー) 及び上塗り材は希釈上水を添加後、必ずハンドミキサーを使用してよく攪拌し、均一な状態にしてください。

その他注意事項

- 低温 (5°C以下) 及び高湿度 (85%以上) の場合は、施工を避けてください。
- 上記塗り重ね乾燥時間は、温度 23°C・湿度 50% の場合での目安です。環境条件により乾燥時間は異なりますのでご注意ください。
- 新設コンクリート面のアルカリ度は pH 10以下、表面含水率は 10%以下 (ケツ科学社製 CH-2)、または 5%以下 (ケツ科学社製 HI-500 シリーズ: コンクリートレンジ) の条件で塗装してください。
- 布クロスには塗装しないでください。
- 本品取り扱い中は、充分な換気をしてください。特に低温時、密閉状態で施工は避けてください (光沢ムラが発生する場合があります)。
- 本品取り扱い中は、皮膚に付着しないよう専用マスク、眼鏡、手袋等保護具を着用してください (本品は高アルカリのため、皮膚の薬傷、目の損傷を生じることがあります)。
- コーヒーや醤油などの液体汚れが付きやすい場所に施工する場合は、オプションとして「アレスシックイEZクリーン (白専用)」をご使用ください。
- 子供の手が届かないところに保存し、誤飲、誤食をしないようご注意ください。
- その他、詳細は施工要領書をご参照ください。

施工後の注意事項

- 本品を内壁仕上げ材として使用する場合、通常のEP塗膜に比べ消臭機能での優位性はありますが、表面への汚れ (ヤニ汚れや皮脂による汚れ) 付着は同程度となります。
- 施工後の塗膜表面に付着した、ヤニ汚れやこすり汚れなどの軽微な汚れは、メラニンスポンジなどを用いて軽く水拭きするか、# 400程度のサンドペーパーを用いて当該部位を軽く研磨することにより除去できますが、塗膜の主成分である消石灰も一緒に擦り取られますので、その部位の艶感や肌が変わる事があります。尚、研磨作業の際には、削り粉が目に入らないよう保護メガネ・防護マスクなどの保護具を着用してください。
- 施工後の塗膜表面に醤油やコーヒー・お茶など液体の飛沫が付いた場合、通常のEP塗膜などに比べ、性状上吸い込み易く塗膜内部まで浸透してしまうため、中性洗剤や水拭きによる汚れの除去は困難です。この場合、簡易養生・研磨の上、本品を用いて1~2回補修塗りを行ってください (但し、補修塗りした部位の艶感や肌が変わりますのでご注意ください)。
なおオプションとして「アレスシックイEZクリーン (白専用)」仕様がございます。
- 「アレスシックイEZクリーン (白専用)」を塗装した面を衣類などで強く擦ると、粉化物が付着する場合がありますのでご注意ください。
- タバコや線香の煙成分にて塗膜が着色する場合がありますのでご注意ください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート (SDS) をご参照ください。

予防策

- 取り扱い作業中・乾燥中とともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具 (帽子・保護メガネ・マスク・手袋等) を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所以は局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものは混合 (多液品の混合・希釈等) しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

対応

- 目に入った場合: 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合: 直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合: 空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類 (ウエス) 等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。



アルミ容器への移し替えは絶対に行わないでください。
(化学反応により容器が膨張したり破裂することがあります)

廃棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)